

目次

[概要](#)

[Codian MCU、IP VCR および ISDN GW ユニットおよびブレードの H.239 に必要な最小帯域幅とは何か。](#)

[関連情報](#)

概要

この技術情報は Cisco TelePresence MCU 4203、Cisco TelePresence MCU MSE 8420、Cisco TelePresence IP VCR 2210、Cisco TelePresence VCR MSE 8220、Cisco TelePresence ISDN GW 3241、Cisco TelePresence ISDN GW MSE 8321、Cisco TelePresence MCU 4505 および Cisco TelePresence MCU MSE 8510 製品に関連しています。

Q. Codian MCU、IP VCR および ISDN GW ユニットおよびブレードの H.239 に必要な最小帯域幅とは何か。

A. H.239 がポイントツーポイント コールまたは会議で使用されるとき、第 2 ビデオ チャンネルは使用可能にする必要があります。論理上、このチャンネルのための最小帯域幅は 4kbps です; ただし、より高い帯域幅を通常必要とされます練習して下さい。H.239 が機器のこの帯域幅で送信することができても品質はほとんどのエンドポイントが非常にサポートすることが低帯域幅で凝集性ビデオの 2 つのストリームをできないので非常に粗末です。

たとえば、128kbps のコール帯域幅で H.239 のためのオーディオ、主要なビデオ ストリームおよび拡張ビデオに合うことは論理上可能性のあるです; ただし、それはコールのすべての側面の低質を特別に経験するので推奨されません。従って、Codian ISDN GW ユニットおよび MSE 8000 ISDN GW ブレードは 256kbps より帯域幅の呼び出しのために H.239 を下がりますアダプタサイズしません。

MCU および MSE 8000 メディア ブレードおよび IP VCR ユニットおよび IP VCR ブレードが 128kbps 帯域幅で H.239 をアダプタサイズするが、品質の問題は常にあり、従ってこの帯域幅で H.239 を使用することを推奨しません。この帯域幅で H.239 チャンネルを使用可能にする場合、ストリームの品質は主要なビデオおよび音声 ストリームのために使われた帯域幅とコンテンツ チャンネル フレーム レートによって決まります-エンドポイントによって低質か H.239 ストリームを、非常に得ると期待する必要があります。

従って IP および ISDNコール両方のための H.239 のビデオ コールのための少なくとも 384kbps のトータル コール 帯域幅を推奨します。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)